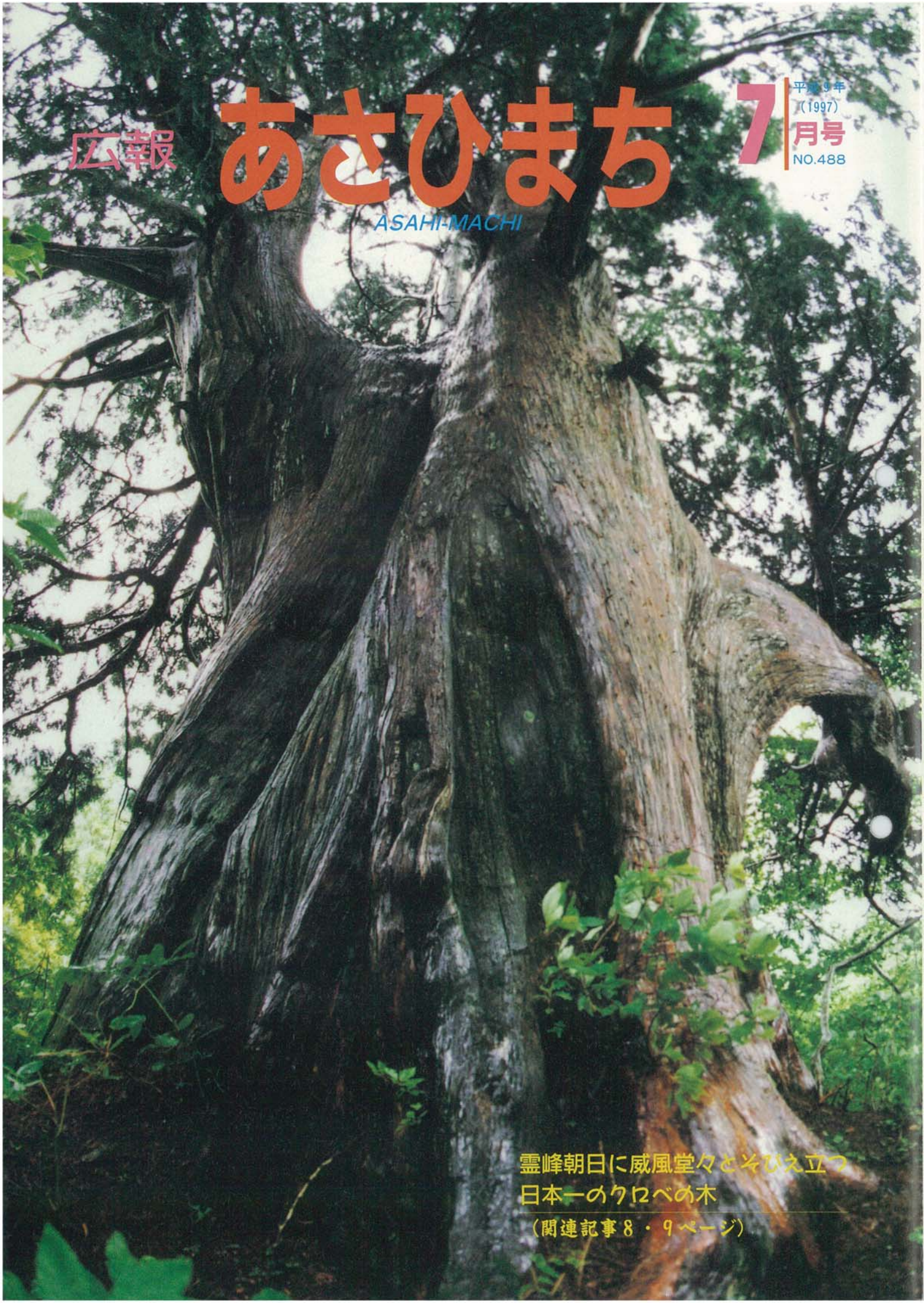
広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

平成9年
(1997)
7月号
NO.488



霊峰朝日に威風堂々とそびえ立つ
日本一のクロベの木

（関連記事8・9ページ）

物が豊富になり、欲しい物はいつでも手に入るという現在、まだ使える物を捨てたり、ついつい多く無駄な食料品を買ったりしていませんか。それがごみとなって私たちの生活環境を破壊しようとしています。

限りある資源を有効に活用していくためにも「リサイクル」を真剣に考える時期です。

今月は、我が町のごみ事情について考えてみます。

増え続けるごみ、ゴミ、塵（ごみ）残りあと八年……

私たちがふだん当たり前のように捨てているごみ。一人が出すごみの量はほんの少しでも、日本中を合わせたらいったいどれ位の量になるのでしょうか。

平成五年度中に全国の家庭や職場から出された一般廃棄物（ごみ）の排出量は、約五千三十万トン。東京ドームの約百三十五杯分にもなります。この他に事業所などから出される産業廃棄物は、東京ドームの約三百二十五杯分にも相当し、合計でなんと東京ドームの四百六十杯分という想像を絶する数字になるのです。

このようなことから、私たちはごみに囲まれ、ごみの上に生活が成り立っているともいえます。それを普段の生活の中であまり気にせずにいられるのは、ごみの増加に対して処理技術の進歩や処理施設の拡充などの努力により、どうにかしのいでいるからに他なりません。

これまでは、排出されたごみのほとんどが焼却された後、埋め立て処分されてきました。ところが処理場の確保は、年々難しくなってきており、処理能力も限界に近づいてきました。現在の最終処理場がごみを埋め立てることができる残りの年数は、全国平均で八年あまりに迫っています。

後たったの八年。もしこのままごみが増え続けたら、二十一世紀の初めには、ごみを捨てたくともどこにも捨てられない社会が待ち受けているのです。

サイクル大作戦

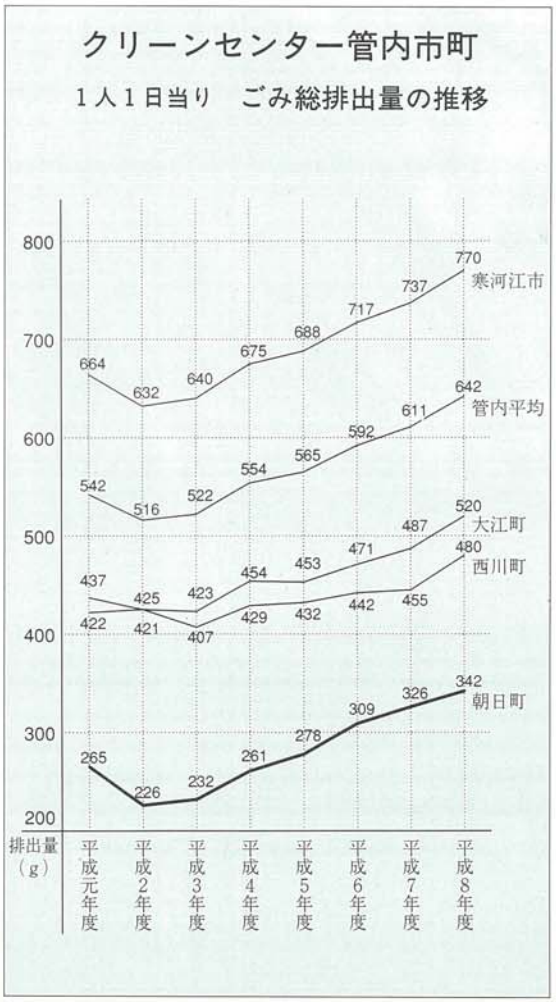
できること

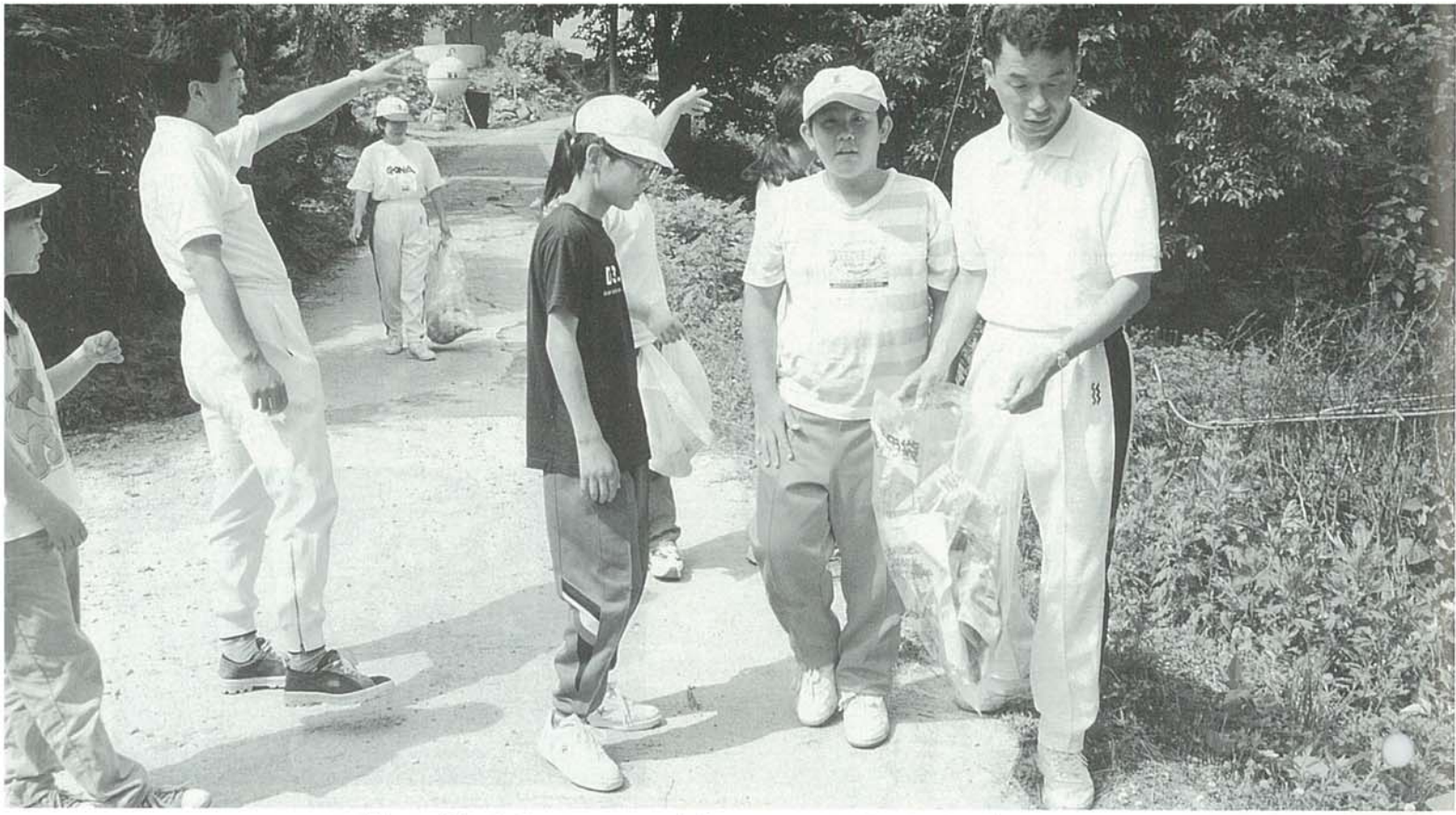
ごみ増加率は西村山郡ナンバー1

平成八年度、町のごみの総排出量は、燃えるごみ七八八トン、燃えないごみ四五二トンと膨大な量でした。人口一万人弱の我が町でさえ、これほどの量が出されるのです。

右のグラフは、寒河江地区クリーンセンターに出された町民一人一日当たりのごみの総排出量の推移を表しています。一見朝日町は、ごみの量が一番少なく問題ないように思われます。しかし、平成八年度一人一日あたり出したごみの量は三百四十二グラム、前年度と比べると約四・九%の増となっています。さらに平成二年度の二百二十六グラムと比べると一人一日百十六グラム、約五一%の増となっています。年間の量にすると、一人約四十二キロもごみを多く出したことになります。

これらは、クリーンセンター管内の他市町にも同じことがいえますが、その中でも朝日町は、群を抜いた増加率となっています。年々町の人口が減少する中で、ごみの量だけが順調に増加するという残念なことが起きているのです。





▲子供たちが繰り広げているクリーン作戦。タバコの吸い殻や空き缶が捨てられていた

我が町のゴミ事情

ごみ減量とリ

今、私たちに

一日あたり六万五千円の処理費

私たちの家庭から出されたごみは、寒河江市にある寒河江地区クリーンセンターで焼却処分されます。燃えないごみについても同センターの粗大ゴミ処理施設で粉砕された後、寒河江市幸生の大平山へ埋め立てられています。

こうしたごみ処理にかかる経費は、一体いくら位になっているのでしょうか。平成八年度のごみ焼却に関する町の費用は約二千二百三十五万円、埋め立て処理に関する費用として約百五十万万円で、合わせて約二千三百八十五万円の経費がかかっています。捨てるごみのために、私たちの貴重な税金が一日約六万五千円も使われていることになります。

出されたごみをどう処理するかも大切な問題ですが、出すごみをいかに減らすかが今、問われているのではないでしょうか。

自分の土地でも不法投棄は許されない

依然として後を絶たないのが、ごみのポイ捨てと不法投棄です。

雪が解け、草木が芽吹く春になると鮮やかな新緑とは対照的に、山林や道路のわきに捨てられたゴミが目につきます。弁当の空き箱や空き缶、ときには自動車の灰皿にたまったタバコの吸い殻を捨てていく人もいるようです。「自分一人くらいなら捨ててもいいや」とか、「車が汚れるから捨ててしまおう」といった気持ちが、このような現状を生んでいるようです。

また、最近特に問題になっていることに、ごみの不法投棄があります。六月四日、町衛生組合連合会（保利貞雄会長）による町内六カ所の不法投棄パトロールが行われました。やはり山間地の人目につきにくい場所には、テレビや物干し竿、フライパンなどが捨てられていました。

不法投棄は法律で禁じられており、「みだりに廃棄物を捨てた者（不法投棄）は六カ月以下の懲役または五十万円以下の罰金に処する」と規定されています。

自分の土地に壊れた家電製品や使い古した農機具、自動車などを放置することも罰則の対象となります。「自分の土地だから何を捨ててもかまわない」という安易な気持ちを持たないことが大切です。壊れた物でも最後まで処理することが消費者の義務であり、礼儀でもあるのではないでしょうか。

町民一人ひとりが「不法投棄は絶対にしていけないし、許されないこと」という強い認識を持ち、今後とも不法投棄に関心を高めていくことが大切です。

依然として後を絶たない不法投棄。いったい誰が？

EMぼかしで生ごみを有効利用

それでは年々増え続けるごみに対して、どのように対応していけばいいのでしょうか。

家庭からでる食べ残しなどの生ごみについては、できるだけ自家処理を心がけたいものです。

昨年度町では、生ごみの減量化と肥料としての有効利用を目指して、EMボカシを使った生ごみ堆肥化処理容器のあっせんを行いました。これは、通常千九百八十円の専用処理容器が九百八十円で購入でき、残りの千円を町が補助するというものです。昨年度は四百七十三台を各家庭が購入しました。

EMとは有効微生物群のことで、自然界に存在する作物作成に有効な八十種類以上の微生物を培養し組み合わせたものです。これに米ぬかやもみ殻などを混ぜて発酵・乾燥させたものをEMボカシといいます。生ごみにEMボカシを振りかけることで、短期間に生ごみを発酵・堆肥化させ、野菜作りに最適な有機肥料ができあがります。畑のない家庭でも花壇やプランターなどで花作りを楽しむことができます。また、比較的広い畑を持っている方には、生ごみ処理容器（コンポスト）を据え置くだけで、簡単に生ごみを堆肥化することができます。

次回の堆肥化処理容器購入に対する補助は、平成十年度の予定です。経済的にもごみ袋を購入するより割安になります。これらを積極的に活用し、生ごみ減量運動に取り組みましょう。

資源回収で限りある資源を再利用

新聞紙やダンボールなどの紙類、着古した衣服などの布類、びんなどの処分はどうしていますか。これらすべては、再生資源として生まれ変わります。大切な資源をごみにしない効果的な方法に、子供会が行っている資源回収事業があります。

町では、資源の保護と子供会の健全育成を図る目的で、資源回収を行った子供会に助成金を交付しています。これは、子供会の人数や回収量の実績に応じて算出され、実績報告書の提出が必要となります。昨年度に実施された資源回収の実績によると、三十九の子供会が三一一トンもの資源を回収しています。

現在は回収した資源の価格が暴落しているため、子供会の資金づくりの手段としては大変厳しい現状です。しかし、資源を大切にする心や子供たちの協調性を養う手段として、これからも資源回収を積極的に応援していく必要があります。

EMぼかしなどで生ごみを出さない工夫を

リサイクルの新たな転換法律もバックアップ

限りある資源を守るために、発生したごみを再び資源として生まれ変わらせることを「リサイクル」といいます。これまでは子供会の行う資源回収が、私たちの取り組んできたもっと

ごみの自家処理は私の生きがいへ

清野さかえさん
（小原）

婦人会でごみの分別収集を勉強したこともあり、昨年の春から「EMぼかし」を使った生ごみの自家処理を行っています。

孫が3人いるものですから、この季節はどうしても果物などの生ごみが多く出てしまいます。以前は、コンポストで生ごみを処理をしていましたが、どうしても腐敗し悪臭が発生してしまい、堆肥としてもあまり良くなかったようです。EMぼかしを使ってからは、においもしませんし、特にニラやナスなどの野菜がとても甘くおいしくなったと家族からも好評です。

ごみをやっかいなモノと考えず、野菜や花などへの肥料として利用すれば、ごみの量も減りますし、生きがいづくりにもなると思いますよ。

ごみ拾いをして

清野　慎一くん
（送橋小5年）

ぼくたちの住んでいる古槙では、第1・2土曜日にごみ拾いをしています。小・中学生が朝早く集まってごみを拾っています。

ごみを拾っているといろんなことがわかります。空き缶やタバコの吸いがらがとてもたくさん落ちていて、大人の人がたくさん捨てているということがわかりました。ぼくたちもそうだけど、大人の人もごみを捨てないように気をつけてもらいたいと思います。

ぼくたちは夏に川のごみ拾いをします。なぜなら、ごみで困っているのはぼくたちだけではありません。川に住んでいる魚も困っているからです。だから川を汚したぼくたち人間が、ごみを拾わなくちゃいけないと思います。

我が町のゴミ事情

も身近なリサイクルでした。

リサイクルされる代表的なものは紙類や布類、びんなどが上げられます。実はこの他にもリサイクルできるもの、いやリサイクルしなければならないものがあります。私たちが出すごみについて考えてみてください。

「食料品が入っていたパックや商品を包んでいた発砲スチロール、飲料水の缶やびん」など、毎日同じようなものばかりです。この容器や包装材が、家庭から出されるごみの六〇%を占めているといわれており、これらをリサイクルすればごみの量は必ず減るはずです。

しかし、残念なことに全国的に見ると家庭から出されるごみのリサイクル率は、たったの八%（平成五年度）に止まっています。この現状を重くみた政府は、平成七年六月の国会で「容器包装リサイクル法」（容器包装に係る分別収集及び商品化の促進等に関する法律）を制定しました。これは容器や包装材（容器包装）の廃棄物を、

①消費者は分別して排出
②市町村は分別して回収
③事業者は再利用

を義務づけた法律です。この法律により、消費者と市町村、事業者のそれぞれの役割を明確にすることで、ごみの減量化とリサイクル社会を実現しようとしています。

現在朝日町は、「燃えるごみと燃えないごみ」に分別して回収していますが、平成十年四月からは、燃えないごみをさらに分別し回収する方法を検討しています。実施にあたっては、寒河江地区クリーンセンターと管内市町が、足並みをそろえて行われることになります。

ごみ減量化のキーワードはあなたです

ごみ減量化と限りある資源を守るためにもっとも必要なことは、町民一人ひとりの理解と協力です。来年四月から実施される分別収集によるリサイクルとともに、ふだんの生活の中でごみを増やさないための工夫をするなど、町民一丸となって考え取り組んでいかなければなりません。

私たち一人ひとりがごみ減量化作戦の主人公となり、「地球にやさしい朝日町」を進めていきましょう。

議会報告◇六月定例町議会

議会

六月定例議会が六月十九日から二十三日まで開会されました。人事案件や一般会計補正予算、条例改正など十五の議案が上程され、すべて原案どおり可決されました。町政報告などの主な内容は次のとおりです。

人事

■町固定資産評価審査委員の再任同意

六月二十九日で任期満了となる現委員の長岡秀行氏（栄町・67歳）が再任同意されました。

町政報告

【総務課】

平成八年度の一般会計を五月三十一日で出納閉鎖したところ、歳計剰余金は約二億四百万円になりました。本年度への繰越明許費五千七百万円を差し引きますと、実質歳計剰余金は約一億四千七百万円になる見込みです。

この処分につきましては地方財政法の規定に基づき、減債基金に六千万円、財政調整基金に四千四百万円を積み立てし、繰越金は四千三百万円の見込みです。

昨年四月に策定した「朝日町行財政改革大綱」は、職員の適正管理など七項目の行財政改革を掲げました。特に旅費規程の見直しを実施し、前年度ベースで本年度の旅費を精査した結果、三百四十万円の減額になりました。また、これらの具体的推進を図るため、行財政改革推進本部の下に幹事会を設置し、活動を開始したところです。

【企画課】

（仮称）生涯学習センターの敷地造成につきましては、一万五千立法メートルの盛土が必要であり、今後の工事残土の盛土が完了し次第、仮整地を行う計画です。設計は東北芸術工科大学の教授と打ち合わせを行い、提案協議（プロポーザル）方式により設計者を決定すべく要項内容を検討中です。

住宅団地造成につきましては、農振地域の除外と、都市計画区域の用途地域変更が必要なため、地権者に打診を行い、平成十年度より造成と分譲ができるよう事務を進めているところです。

【税務課】

平成八年度の町税収納状況の集合主税分につきましては、納税組合長各位のご協力により一〇〇%完納を達成することができました。普通徴収分は数件の滞納が発生しておりますので、今後これらの一〇〇%収納に向け努力してまいります。

平成九年度分の町税賦課事務は、五月十六日付けで各納税義務者に通知書を発送し完了しました。前年に比較して、給与所得は六・六%の増、農業所得は二一・四%の増となっています。町民税は二七%の大幅な増、固定資産税は三・七%の減になりました。

本年度の地籍調査は立木、白倉地区の一部二百四十ヘクタールを実施しています。

【商工観光課】

就職活動が早まったことにより、若い労働力の確保と地元定着を図るため、来春卒業予定の朝日分校の三年生を対象に六月五日、町内企業訪問を実施しています。

雇用促進住宅宮宿宿舎の入居率は、五月末現在で七〇%を超えました。さらに入居率を高めるためにハローワークと連絡を密にして、入居促進を進めて参ります。

【建設課】

町道改良事業は、大暮山線、上郷太郎線、大町西原線、栄町前田沢線の四路線を計画しています。

本年度の合併処理浄化槽設置予定は五十基となっております。設置率は全体計画の二五・一%になる予定です。

県単独事業の三中トンネル工事につきましては、トンネル前後舗装工事と安全施設工事完了後、八月上旬に開通式を行う予定と伺っています。

【農林課】

農作物の生育状況は平年より若干早く、リンゴの開花も平年より三日程度進んで経過しましたが、四月十四日、十五日の降霜により、サクランボとリンゴの

中生種にかなりの被害が出るものと予想されます。

「大谷地区」の担い手育成基盤整備事業につきましては、四十七・六ヘクタールのほ場整備が行われる予定です。また、「八ツ沼地区」の水環境整備事業につきましては、本年度より工事に着手いたします。

中山間地域総合整備事業の「アサヒ秋葉山地区」につきましては、農道、水路など生産基盤の整備と、特認事業であります体験農園の整備を行い、本年度で完了する予定です。

【生活福祉課】

在宅支援センターのヘルパー派遣については、日中だけでなく早朝や夕方にも派遣し、一人暮らしの老人などの生活を支援していきます。

本年度予定しているふれあい荘の増床工事は、国庫補助の内示があり次第、着手できるよう準備を進めております。ショートステイ、デイサービスの利用も大変順調に推移しております。

【朝日自然観】

平成八年度の運営状況は、入り込み客数で町内外からの宿泊者一万九千人を含む、十四万一千人（内スキー場利用者数五万一千人）の来客がありましたが、景気低迷や類似施設の増加、近年にない雪不足などの影響により、平成七年度の十六万四千を大きく下回り、売上も四千七百八十万円の赤字となりました。

本年度は、このような厳しい経営環境の中で行財政改革大綱及び自然観活性化検討委員会（阿部宗一郎委員長）の答申を踏まえて、助役を座長とする自然観経営検討会議・誘客本部を設置しました。現在は、公設民営化を目指した具体的な方策を検討中であります。

【水道事業所】

平成八年度の決算見込みは、収益的収支において六百七十四万五千円の純利益を計上できる予定です。

【農業委員会】

昨年「リンゴを作りたい」と兵庫県から当町に転入された方が、通常の五％の定額の小作料で県農業公社から農地を借り受け新規就農いたしました。

今後もそれらの有利な制度を活用し、関係機関と連携を図りながら新規就農者を受け入れていきます。

【病院事業】

昨年度より進められていた診療棟改築工事が一部工事を残し完了し、四月一日から新しい診療棟での診察を開始いたしました。本年度分の一部工事につきましては、国より補助金の内示があり次第、入札を執行する予定です。

平成八年度の決算状況は、事業収益が六億九千五百九十六万一千円、事業費用が七億二千八百四十九万五千円となり、三千二百五十三万四千円の経常損失を計上する予定です。

【管理課】

大谷小学校建設事業につきましては、四月二十五日に土地所有者と用地取得契約調印を終了しました。今後の事業計画は現在、県と協議中です。

学校整備計画につきましては、平成七年三月に教育委員会より提示された「二十一世紀に向けた教育のあり方」を基本に、分校、小規模小学校統廃合の促進について、関係地区民との合意を得ながら進めていく考えです。

【生涯学習課】

「大谷地区」担い手育成基盤整備事業関係で、県教育庁文化財課の発掘調査の結果、縄文時代から平安時代の遺構、遺物が確認され、緊急的に発掘をして記録保存する必要がでてまいりました。財団法人山形県埋蔵文化センターが委託を受け、五月七日から七月十八日まで昭和新田発掘調査として調査中であります。

台風8号

町内各地につめ跡

豪雨災害対策本部を設置

六月に入り二番目の日本列島上陸となった台風8号。その影響で六月二十七日夕方から二十九日午前中まで降り続いた集中豪雨により、町内各地で土砂崩れなどの災害が発生しました。

町では、二十七日夕方より町内のパトロールを行い、二十八日午前一時、「台風8号に伴う豪雨災害対策本部」を設置。被災箇所の情報収集及び被害調査を行いました。

七月二日現在の調査結果によると松原、八ツ沼、立木の住宅三戸で床下浸水。道路への山腹崩壊や路肩欠所は国県道十三カ所、町道二十七カ所、農道三十四カ所、林道十五カ所。河川護岸決壊は九カ所。地すべり、がけ崩れが四カ所。水路、ため池崩壊が十七カ所。農作物関係では水田埋没〇・二ヘクタール、冠水三・七ヘクタール、農地決壊でリンゴ六本が倒木しました。これらの被害総額は約二億五千九百万円（国県道災害除く）に上がりました。

七月十日開かれた対策本部会議では、公共災害に該当するよう国や県に働きかけ、早期に復旧できるよう推進していくことなどを決定しました。

▶山腹崩壊で全面通行止となった国道287号宮宿地内

されたクロベ

日本一に認定されたクロベ

カメラさんぽ

クロベの木

朝日連峰の上倉山（一、一四四メートル）の頂上から北西方向に下った標高一、〇五五メートルの傾斜地にあるクロベ（ヒノキ科）が、「幹回り日本一」として正式に認定されました。

これは昨年十月十一日、全国国立公園指導員で何度も朝日連峰を訪れている土屋典生さん（東京都）から、クロベの木を調査してほしいと依頼を受けた、各地に残っている巨木を探している民間グループ「巨樹の会」が調査を行ったもので、幹回り九・二七メートルと分かりました。また、この木の周辺に幹回り三・五二―七・六四メートルのクロベ五本も同時に確認されました。

これらの調査結果を受け、全国の

日本一のクロベ。人間と比べてみると幹の太さが一目りょう然

日本5位に認定

天にそびえる日本一の

巨木情報の集積、分類を行っている東京都奥多摩町森林館が調査鑑定を行い、これまで日本一だった秋田県和歌山塊にあるクロベの木（幹回り八・三〇メートル）をしのぐ巨木であることが認定されました。

また昨年、和歌山塊のクロベの幹が倒伏してしまったために、同時に確認されたクロベ五本の内、三本が、日本二、五、八位であることも正式に認定されました。

自然は、人間を始めとするすべての生物のかけがえのない宝物であり、これらの木を育んだ朝日町の大自然は全国に誇れるものです。これだけの大自然を残してくれた先人に感謝するとともに、これからもこの豊かな自然を大切に残していきましょう。

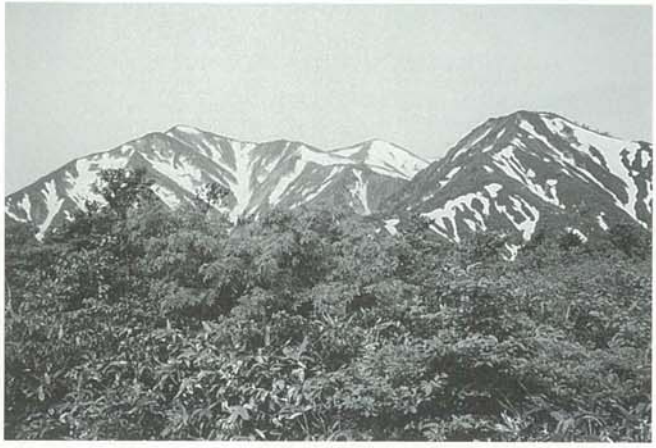
◆クロベ（ネズコ）とは

ヒノキ科の木で、水に強く虫にも強い。落ち着いた深みのある色つやと、複雑な木目であることから、かつては「榑萱（くれかや）」と呼ばれる屋根板や天上板に大量に使われていた。

材としてきわめて優秀でありながら、一般的に認識されていない原因には、加工時に重度の花粉症のような症状に襲われ職人に嫌われたことや、扱いやすい外材の大量輸入により木工関係の職人の腕が、現在の工業的生産システムの中で悲しいほど低下させられたのが原因と考えられている。（森の博物館より抜粋）

まちの話題

まちの話題…❶　朝日連峰夏山開き



夏山シーズンの安全を祈願

朝日連峰夏山開きが6月15日、鳥原山にある朝日嶽神社で行われました。

例年夏山開きは、梅雨期に行われることから天候が心配されましたが、この日はちょうど梅雨のひと休みとなり、絶好の夏山日よりになりました。

山開きの神事には朝日、大江、西川、長井、白鷹各市町の関係者や登山愛好者約90人が参加。それぞれの代表者が玉串を捧げ、夏山シーズン中の安全を祈願しました。

また、当日の早朝は、恒例となっている参加者による登山道周辺の草刈りや清掃活動を展開。朝日連峰を愛するみなさんのボランティア活動により、今年も気持ちよく夏山登山を楽しむことができそうです。

まちの話題…❸　ふるさと文化講座

大沼の浮島周辺の自然を学ぶ

季節外れの台風6号も通り過ぎ、晴天に恵まれた6月22日、ふるさと文化講座が行われました。

この講座は、朝日町の歴史や文化、自然を学ぶことにより、ふるさとの良さを再発見しようと初めて開催されたものです。

この日は約30人が参加。県文化財保護指導委員の吉野智雄さんを講師に、大沼の浮島周辺に自生している草木の素晴らしさを学びました。

参加者たちは「浮島だけでなく、周辺の自然も文化財として価値があるものだとは知りませんでした」「これまでただの雑木林と思っていたものが、実は素晴らしい価値があるものと聞いて驚きました」などと語り合っていました。

まちの話題…❷　交歓交流大会

勝ち負け以外の楽しさを

朝日町スポーツ少年団の交歓交流大会が6月23日、町民体育館で行われました。

これは、町内にある11のスポーツ少年団の交流と、競技以外のスポーツをすることで、勝ち負け以外にあるスポーツの楽しさを知ってもらおうと昨年から実施しているものです。

当日は、約300人の少年少女が参加。気軽に楽しめるドッチボールで、チームプレーの大切さや応援合戦を繰り広げながら、スポーツの楽しさを体いっぱい感じていました。

まちの話題…❺　交遊の広場

天までとどけ ぼくの夢

「七夕の日」の７月７日、秋葉山交遊館で、保育園入園前の幼児11人とそのお母さんたち10人が七夕飾りを楽しみました。

家で作ってきてもらった短冊には、「セーラームーンになりたい」や「ウルトラマンティガになって悪い怪獣をやっつけたい」など、夢あふれる願いごとがたくさん書かれていました。

まちの話題…❻　新規学卒就職者激励会

新戦力 心新たに

７月２日、新規学卒就職者激励会が朝日自然観で行われました。

対象者は今春高校や大学を卒業し、町内12の事業所に就職した20人（当日は19人参加）。清野町長が励ましの言葉を贈った後、就職者を代表して大谷久則さん（㈱アサヒニクニ）がお礼の言葉を述べました。

この後、テーブルマナーの講習を兼ねた昼食会と、登坂高典さん（八ツ沼）の「思いやりの心」と題した講話が行われ、フレッシュマンたちは心新たに明日からの英気を養いました。

まちの話題…❹　ほうき松

ほうき松周辺を整備

大谷の初月（はつき）山に全国的にも珍しい赤松の一種「ほうき松」があります。６月15日、北部地区の有志51人により、周辺の刈り払いと歩道の整備作業が行われました。

これは、できるだけ多くのみなさんに「ほうき松」を見ていただきたいと、枝や樹木をはらったり、案内板を建てたりしたものです。

参加者は、「地区の宝物であるほうき松をみんなの手で守っていきたいですね」と語っていました。

まちの話題…❽　安全運転

朝日支部が初優勝

第19回寒河江西村山地区自動車安全運転競技大会が６月29日、高瀬学園寒河江自動車学校で行われ、朝日支部がみごと団体初優勝、また個人の部でも大沼淳治さん（日東ベスト㈱大谷工場）が優勝を飾りました。

同大会は、安全運転に対する意識と運転技術を高めることにより、多発する交通事故の防止をねらいとして開催されているものです。

参加者のみなさんは、「勤務が終わってからの練習で大変でした。この大会だけでなく、常日ごろ安全運転を心掛けます」と語っていました。

まちの話題…❼　各種大会成績

健闘！朝日中学校

本格的なスポーツシーズンに入り、中体連では朝日中男子バスケットボール部が８年ぶりに優勝するなど、朝日中の健闘が目立った大会となりました。各種大会成績は次のとおり。

◆西村山地区中学校総合体育大会
（６／14・15　各会場）
優勝　男子バスケットボール部
〃　剣道女子団体
２位　剣道男子団体
〃　清野仁（剣道男子個人）
３位　鈴木和也（柔道男子個人）
〃　阿部久美子（柔道女子個人）

◆西村山地区中体連陸上大会
（７／１　寒河江高校陸上競技場）
優勝　菅井慎也（３年男子100m　11″9）
〃　菅井慎也（男子200m　24″6）
２位　鈴木佑香（女子走幅跳　4m53）
３位　宮川岳穂（男子走幅跳　5m60）

◆西村山地区中体連水泳大会
（７／１　寒河江市民プール）
優勝　渡辺浩司（男子100m自由形　1′03″98）
〃　渡辺浩司（男子200m自由形　2′19″29）
２位　保利有希子（女子100m平泳　1′20″03）
３位　保利有希子（女子200m平泳　2′57″44）
〃　堀美貴子（女子100mバタフライ　1′25″52）

◆第９回町民グラウンドゴルフ大会
（６／８　朝日自然観中央広場）
総合優勝　白田幸代（大隅）
男子の部優勝　長岡石五郎（大谷五）
女子の部優勝　白田幸代（大隅）
小学生の部優勝　安藤茂昭（松原）

２冠を達成した菅井慎也選手（朝日中３年）

みんなのひろば

新婚さん

大町／清野　一美さん　香織さん

ダイエーで日用雑貨担当３年目の一美さんと新規採用でレジ担当だった香織さん。一美さんが客を装い声をかけた夏の暑い日から交際が始まりました。それからの毎昼毎晩は、電話でお互いに愛の確認を欠かすことはなかったそうです。デートの帰り際、車の中で一美さんが放った決定的なプロポーズ「香織の残りの人生をこの俺にくれないか」は、本当はだれにも内緒にしておきたい二人だけの思い出だったそうです。（無理にお聞きしてすみません）

初めて作ってもらった香織風ビーフカレーの味が忘れられず、その後も香織さんは一美さんのいる男子寮へお忍びの日々が続いたとか。結婚した今でもカレーが出ると、落ち着かない寮で口にするカレーの初々しい味が鮮明によみがえってくるそうです。

クリスマスの夜に見た光のページェントが忘れられないと語る二人の瞳には、それ以上に輝く何かが二人の未来を象徴しているようでした。

すてきな仲間たち㉗

「西部女性文化教室」茶道で人間性豊かに

「難しく思わないで誰もが気軽に茶道を楽しめるように」という思いから始まり10年近くなります。現在43人の仲間と毎月１回、第１月曜日の夜に西部公民館でみんな和気あいあいと楽しんでいます。

主な活動内容は、お辞儀、立ち方、座り方その他にもお茶やお菓子のいただき方などを学習し、町の女性文化教室や寒河江市のチェリーランドで催される発表会で、日ごろの学習成果を披露しています。

茶道を通して、書や焼き物、染め物など他の日本伝統文化に興味を持ち、人間性豊かになれればと思っています。みなさんも私たちと一緒に作法を習いながら茶道を楽しんでみませんか。気軽に声をかけてください。

（代表　登坂富　☎67―2458）

せんせい あ・の・ね　水本幼児学級

（にわとりの小屋掃除のときに）
幼児「にわとりの家きたないね」
保母「でも、みんなうんちするでしょう」
幼児「するけど、くさくないよ」
保母「じゃあ、どんなにおい？」
幼児「レモン!!」
保母「???」
幼児「トイレさあっぺ。黄色くてかったいの」
（どうやら、芳香剤のにおいのことのようでした）

吉池　孝さん
（長　沼）

ひとことトーク

ただ今、田舎暮らしを満喫！

～去年４月、長沼へ移住～

田舎の人が都会にあこがれるように、田舎の生活にあこがれて昨年四月、一家五人で長沼にやってきました。春は山菜、秋はキノコなどの旬の食物がとってもおいしいですし、うさぎや犬、猫などの動物も家族の一員になりました。東京では味わえなかった生活を楽しんでいます。

また、子供たちには山や川で遊びながら自然を体で感じ、いろんなことを学んでほしいと思っています。

そんな朝日町の生活も最近とまどうことがでてきました。私生活以外でのしがらみが多いことです。コミュニケーションを図ることも大切なことだと思いますが、もう少しスマートな活動ができるのではと感じています。

もっと町を地域を知るためにいろんな方たちに出会い、とけ込んでいきたいと思います。

よくわかる「エコミュージアム」入門 ㉑

町民みんなが町の案内人

先日、「ふるさと文化講座・大沼の浮島周辺の自然を見る会」が、県文化財保護指導委員の方の案内で行われました。

意外にも、大沼にはブナの大木や暖かい地方に多いヒメアオキ、とげのないサンショウがありました。また、ダンゴの木の葉っぱを使って遊べることなどを発見し、参加した人たちは、大変楽しい一時を過ごすことができました。

このように上手に案内してくれる人がいると、これまで見えなかったものが見えるようになり、何げなくある自然がより生き生きと見えてきます。

町にはこの他にも朝日自然観、秋葉山、世界のりんご園、国重要文化財の佐竹家、ワイン工場、朝日岳、最上川など良いところがたくさんあります。そういった良い所を、大人はもちろんのこと次の世代を生きる子供たちに伝えていくことは、この町で楽しく暮らしていくためにとても大切なことです。また、町を訪れる人たちに町の魅力を紹介することは、これからますます必要になってくるでしょう。

そして、それらを案内する人は、やはり地元の生活に密着した方がふさわしいのです。また、案内をお年寄りの方にお願いすれば、長年培ってきた経験や知識を生かすことができ、生きがいづくりの場にもなります。

町では、案内人養成のための講座を開き、多くの町民の方々に「案内人」になっていただこうと計画しています。「町民みんなが町の案内人」になり、エコミュージアムの町づくりを進めていきましょう。

（朝日町エコミュージアム研究機構）

大沼の浮島で行われたふるさと文化講座

町民の声

みなさんからのお便りでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、楽しい話題、イラスト、質問など待っています。

〔あて先●朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係〕

歯みがきを好きになろう

六 月号の保健婦だよりを読みまして、歯はとても大切なものだと改めて感じました。

私にも三歳になる息子がいます。おかげさまで今のところむし歯はありません。小さいうちは、親がしっかりみがいてあげなければいけないと思いました。まず、歯みがきを好きになることですね。【阿部陽子・西町】

お子さんのむし歯を防ぐために、お母さんや家族のみなさんが頑張っているのを知り、大変うれしく思います。

三歳前後は、自己主張が盛んになり、いやなことはさまざまな形で抵抗するようになります。歯みがきは、親子で一緒にみがいたり、好きな音楽をかける、おふろで歯みがきをしたりするなど、楽しく続けられるような工夫が大切ですね。これからも頑張ってください。【生活福祉課】

よろしくお願いします

四 月一日から朝日町交番に勤務しています。町民のみなさんには、暖かく迎えていただき毎日楽しく過ごしています。

私の職責は朝日町の治安をしっかり守ることです。そのためには、自分に与えられた受け持ち区の一軒一軒を訪問し、警察に対する理解を高め、町民のみなさんとの信頼関係を築き上げることに力を入れます。それが治安の維持につながり、ひいては町の発展につながると確信するからです。

町民のみなさん、どうぞ気軽に朝日町交番を活用してください。【土岐勝義・新宿】

スポ少の紹介を

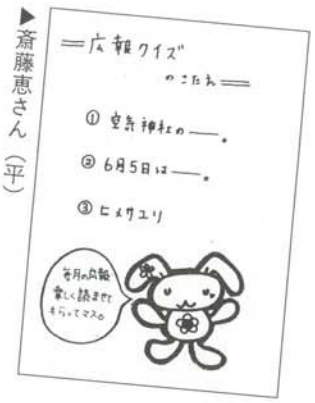
広 報あさひまちの「すてきな仲間たち」のコーナーに、スポーツ少年団を紹介してください。団員が少なくて活動が大変な少年団もありますし、少しでも長く続けて欲しいからです。お願いします。【小林富士子・夏草】

広報あさひまち「すてきな仲間たち」のコーナーは、毎月町内のさまざまな活動をしているサークルやグループ、スポーツ少年団を紹介しています。以前にもスポーツ少年団を紹介しましたが、まだ紹介していないところもありますので、随時紹介していきたいと思います。

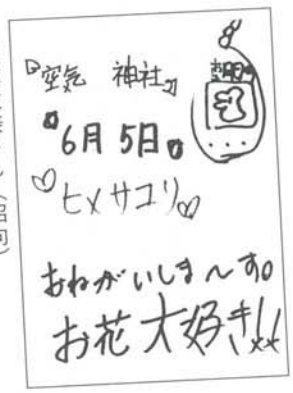
また、紹介を希望するサークルなどがありましたら、どしどしご連絡ください。広報委員が取材にお伺いします。【総務課】

イラストコーナー

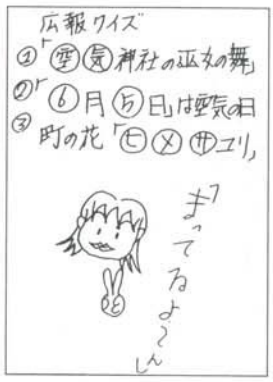
▶斎藤恵さん（平）



▶佐藤友美さん（沼向）



▶佐藤妙さん（宿）



図書券が当たる 広報◆クイズ

【問題】
①右の写真は上倉山にある「日本一の○○べの木」
②国・名勝指定「○○の浮島」
③町の木は「○ナ」

【応募方法】
正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、答えの下に広報の記事について感想をお聞かせください。お願いします。

【六月号の答え】空気神社・六月五日・ヒメサユリ

【応募者数】三十人

【六月号の当選者】鈴木みよさん（西町）・阿部くにさん（常盤）・遠藤恵美さん（栗木沢）

こせきのまど

■6月1日～30日届出

すこやかに
（出生届）

区名	出生児氏名	保護者名
助ノ巻	白田 佑太（ゆうた）	浩一
大町	伊藤 晃綺（こうき）	俊幸
川通	志藤 凌央（りょうき）	一彦
助ノ巻	布施 幸喜（こうすけ）	賢一
助ノ巻	伊藤 航介（こうすけ）	正昭
西町	岡崎 祐（たすく）	国宏

おしあわせに
（婚姻届）

阿部 勉（松程） ♥ 阿保則子（山形市）

佐藤 修（大滝） ♥ 佐竹妙子（松程）

やすらかに
（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
常盤	長岡かの	公雄
宿	佐藤信一	英幸
宇津野	渡邉きみ	春男
栗木沢	佐久間平七	久雄
四ノ沢	阿部たかゑ	本人
大町	後藤よし子	寿美

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成9年6月30日現在

人口		9,890（増2）
	男	4,912（減2）
	女	4,978（減4）
世帯数		2,584（増3）

（ ）内前月比

くらしの知恵袋 ⑫

渡邉美姫さん（送橋）

暑い夏がやってきました。夏バテや食中毒（O—157）には、十分注意したいものです。

韓国キムチの材料であるニンニクや唐辛子を食べると夏バテや食中毒の予防になります。それを利用した食べ方を紹介します。

◆「南蛮みそ」（韓国風呼び名）

《材　料》唐辛子パウダー・水あめ・塩水（量はすべて自分の好みに合わせて）・みそ（少々）

※本来は麦、もち米粉を加工したものを入れて作りますが、今回は水あめを代用しました。

《作り方》塩水を沸かしてさまし、唐辛子パウダーと水あめ、みそを入れてかきまぜます。

《食べ方》①南蛮みそは、腹の調子が悪いときに胡麻油を混ぜ、ご飯にかけて食べると腹の調子を整えてくれます。

②野菜と豚肉を炒めて味付けしたり、ゆでた野菜とあえて食べたりするとおいしいです。

③料理をするのがめんどうな方には、生キュウリにつけて食べてください。

夢 ④ かなうといいな

今月は朝日中学校3年4組です

●頭を豆腐のように柔らかくしてすごいことを発明し、将来必ずノーベル賞を受賞したい。そしたらぼくも名誉町民になれるかな？

白田弘行・大谷一

●大学で心理学を専攻して、スクールカウンセラーになりたい。いじめや不登校で悩んでいる子供たちの心を、少しでも和らげてあげられれば。

熊谷奈美・新宿

●花が大好きなので、花屋さんになりたい。天に向かってどんどん大きくなるヒマワリが大好き。朝日町も花でいっぱいになればいいな。

五十嵐千晶・中沢

●将来は人の役に立てる仕事をしたい。医者になれたら最高かな。そしたら朝日町に開業して、病気の人をばんばん治してあげたい。

大類雅敬・西船渡

町立図書館 新刊情報

▼アンダーグラウンド（村上春樹）▼平気でうそをつく人たち（スコット・ペック）▼真田忍侠記（津本陽）▼徳川慶喜の子ども部屋（榊原喜佐子）▼謝らないアメリカ人すぐ謝る日本人（高木哲也）▼太陽の王ラムセス（クリスチャン・ジャック）▼ニッポン国カイシャ村（正木鞆彦）▼やさしい訴え（小川洋子）▼漆の実のみのる国（藤沢周平）▼ホームレスになりたくない（出会いの家）▼動物と私の交響楽（中川四郎）▼あっ患者が死んじゃった！（半田宏）

■広報あさひまち　第488号　平成9年7月15日発行　■発行　山形県朝日町　■編集　朝日町広報委員会／山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷　豊田太印刷所

朝日町十景写真コンテスト入選作品⑤

●入選「ブナ林に舞う」

■撮影者　平　正志さん（山形市）

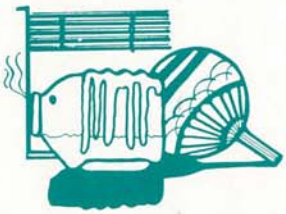
新緑のブナ林に囲まれたステンレス鏡が、天空の青と光を映し出すことにより天地の逆転を感じさせる。その上を紅白衣装の巫女が舞う姿は、まさに、朝日山麓にそよぐ空気の精。（空気神社より　ペンタックスZ－1使用）

［おわびと訂正］

本紙六月号十三ページ「ひとことトーク」で、熊谷小四郎さんが熊谷小三郎さんの誤りでした。おわびして訂正いたします。

町職員を募集します

●職種及び採用予定人員
・一般行政職（一般事務・保健婦）若干名
・医療技術職（看護婦・薬剤師・理学療法士）若干名
●受験資格（年齢要件）
・一般事務（昭和47年4月2日以降に生まれた方）
・保健婦（昭和43年4月2日以降に生まれた方）
・医療技術職（昭和38年4月2日以降に生まれた方）
●受付期間7月22日（火）から8月20日（水）まで（土曜、日曜を除く）
●資格要件・試験内容などの詳細は、7月16日発行のお知らせ板に掲載します。
●申込・お問い合せは、朝日町役場総務課庶務係（☎0237－67－2111）まで



編集後記

春　夏　秋　冬

▼じめじめする梅雨もようやく終わりに近づき、いよいよ夏本番を迎えます。

我々大人にとってはビールがひじょうに恋しく、また、おいしい季節になりました。私の場合、仕事を終えては一杯、スポーツ後に一杯、うれしいこと悲しいことがあっては一杯と、何かことあるごとに飲んでいるような気がします。

そういえば最近、ベルトの穴が一つ手前に移動してしまい腹が出てきたなと思った矢先に友達からの一言、「幸せ太り？ちょっと太ったんじゃない。」これにはかなりドキッとさせられました。

夏は本格的なスポーツシーズン。スポーツで汗を流し、体のシェイプアップと心のリフレッシュをしようと思います。その後ビールを飲み過ぎて、無駄な努力にならないように…　㊚